

# 社員の健康は会社の成長

## 健康に意識を向ける企業増加

### 三重県・健康経営特集

三重県内では、従業員やその家族の健康づくりを積極的に推進する企業が増えている。人手不足や従業員の高齢化、メンタルヘルス不調者の増加に伴い、社員の健康が生産性向上や企業の成長につながるという健康経営の考え方が改めて注目されているからだ。三重県内企業では、各社工夫を凝らした取り組みを実施している。

#### 従業員とその家族に 問診アプリサービス

複合機やプリンターなど事務機の修理・販売を手掛ける四日市事務機センター(本社四日市市日永西2の18の7、佐野智成社長は、福利厚生の一環で、全従業員とその家族約100人にインターネットでの診断サービスを無料提供している。発熱な体に異常を感じた際に、スマートフォン専用アプリケーションを使い、画面上の問診表に入力する。アプリに登録された医師が診断し、適切な病院の紹介などの助言をする仕組みだ。

また、全従業員を対象に毎年ストレスチェックに取り組んでいる。ストレスチェックは、従業員50人以上の事業者のみ法律で義務付けられ、同社に対象外。しかし、佐野社長は「社員が生き生きと働き続けるためには、定期的に従業員のストレスや体調を確認する必要がある」と狙いを語る。

このほか、本社社屋を改装したが、健康に配慮した設計を取り入れている。1階から4階までの階段の床には、段差をまたぐ際の消費カロリーを表示している。歩く機会を増やすために、社内のごみ箱の数を減らしている。

さらに、各フロアには、健康に関するポスターの開催を予定している。



本社社屋の階段に消費カロリーを表示

#### 健康診断の後に 面談でフォロー

運送業、不動産事業などを手掛ける宝輪(本社鈴鹿市国府町5696-1の1、蕪竹洋社長は、「従業員の健康は会社の健康」の考えのもと、健康経営に積極的に取り組んでいる。

健康診断では、再受診や再検査が必要な従業員に対して健康委員が個人面談を実施している。面談チェックシ



健康診断で再受診や再検査が必要な従業員に面談を実施している

トに沿って、改善点を確認。その後の経過観察も行い、従業員の健康維持・改善に役立っている。面談率、再受診・再検査率ともに100%を達成している。

今年4月には、「2019年度年間健康大賞」を創設し、健康改善に積極的に取り組んだ従業員1人を表彰した。受賞した従業員は、健康診断結果をもとに、悪かった項目について自病院へ行き治療・改善に取り組み、すべての項目で「A評価」取得を達成したことが評価された。

このほか、歩数・血圧・心拍数などを計測できる専用アプリで管理できる「スマートウォッチ」を希望者全員に配布。インフルエンサ予防接種費用の負担や、サッカーコートによるストレッチ教室開催などにも取り組んでいる。

昨年11月からは、家族の介護が必要な従業員に対し、職場変更や介護手当の支給、外部専門機関へのあそびなどを提供する「ケアサポート制度」をスタートしている。

### オール三重の視点で健康経営推進

中小企業の健康保険を担う全国健康保険協会(協会けんぽ)三重支部は、三重県や経済団体など関係各団体の協力を得て、オール三重の視点で健康経営の普及に努めている。

事業主の明確な決意表明である「健康事業所宣言」の重要性を啓発するとともに、生活習慣病予防健診や特定健康診査、特定保健指導などを各事業所に促進し、従業員の健康状態を知る「きっかけ」を提供することを支援の第一歩としている。

三重県では、健康に意識を向ける事業所が増加しており、今年4月時点で「健康事業所宣言」に113社が参加

### 新型コロナウイルスの 感染拡大防止策を徹底

橋りょう部品の製造や木造・鉄骨建築の総合請負などを手掛ける佐野テック(本社三重県桑名市千草5051の9、佐野貴代社長は、4月から、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を徹底している。

仕事中のマスク着用に加え、土・日曜日を含め毎日の検温を義務。体温ほか、せきの有無、倦怠(けんたい)感などを確認するチェック表を配布して、体調が悪い社員がいれば、社長自ら声をかけている。また、1日の行動を記録する用紙も配布、感染リスクの高い場所に行くことを避けるよう呼び掛けている。

万が一、濃厚接触者となった時、臨時休業となった小学校に通う小学生の育児が必要となった場合、社員が休暇をとりやすいうえ、5月末までの限定で「新型コロナウイルス関連特別有休休暇」を創設した。これは労働基準法の年次有給休暇とは別に上限なく有休休暇を付与するものだ。

本社事務所の受付には、体表面温度を測定できる温度計を設置。荷物搬入などで来客のある窓口には、二重間仕切りを設置した。

佐野社長は「これからも新しい感染症リスクが出てくる可能性がある。中小企業だからこそ、対策を徹底し社員を感染症から守りたい」と話している。



本社事務所受付に体表面温度計を設置するなど感染予防対策を徹底している

### ナヤデンが導入している健康 管理アプリ



#### 社員の歩く機会を 増やし健康づくり

工場向けの燃料や潤滑油の販売などを手掛けるナヤデン(本社桑名市中央町3の66、栗田祐輔社長は、社員の歩く機会を増やすことで健康づくりにつなげている。車通勤している社員に対し、自宅から徒歩15分程度の場所に会社の駐車場を契約。自宅から駐車場まで歩き、止めてある社用車を運転して出社するよう奨励するものだ。

1日1往復30分程度の徒歩の時間が確保でき、駐車場から社用車で通勤する社員には「エコ通勤手当」として月3千円を支給する。

現在、全社員●人のうち●人が実践。成果が上がっており、メタボリック症候群と診断された社員の減少につながっている。「体重が2年で5キロ以上減った社員もいる」(栗田社長)という。

このほか、スマートフォンの健康管理アプリの利用を促すことで、社員の健康づくりを推進している。歩数や睡眠、食事モチベーション、体重などを管理して月一回集計。健康管理をすることでポイントが貯まり、キャッシュバックする仕組みも取り入れている。

女性従業員の健康保持・増進に向けた取り組みにも積極的に、女性のための健康相談窓口を設け、健康リズムカウンセリングなどの資格を持つ担当者が対応している。

し、昨年4月と比べ2.5倍に増加した。また、経済産業省の「健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)」では、県内企業から98社認定されている。

同支部の内藤誠支部長は「事業主が先頭に立ち、健康の大切さを理解し、組織的に実践する環境づくりを行っていくことが大切」と強調。「事業主はもちろん、従業員一人一人が自身の健康状態を把握し、予防医療を実践していく。組織に属することで自然と健康になる。これ以上の理想的な健康経営手法はない。年一回の健康診断はもちろん、血圧測定やラジオ体操など小さなことで構わないので、地道に継続して取り組むことが健康経営、医療費の適正化につながる」と話している。

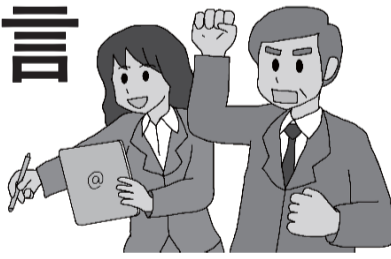


協会けんぽ三重支部が配布している健康経営の推奨パンフレット

企画・制作 中部経済新聞社 三重支社

健康経営の成功のカギは  
経営者の強いメッセージ

## 社長、いまこそ 健康宣言 です。



全国健康保険協会 三重支部  
協会けんぽ  
問合せ先 TEL.059-225-3317

# SNO

## 株式会社 佐野テック

「送風のない次世代エアコン」がづくりだす  
「快温+無風+無音」の空間を提案します。  
まず体感しませんか?

URL : <http://www.sano-tec.jp>  
TEL : 059-391-0200



全国から集めた、様々なオフィス空間やノウハウを体験できる  
『カメレオン<sup>®</sup>オフィス』誕生!!

Yonjim renewal

「会社を「成長させたい」「変革したい」とお考えの方には必見です。」

お客様のニーズに合わせて8コースから選択して体験できます

- 最先端のオフィス空間
- ICT/IOT
- セキュリティ
- BCP対策
- 健康経営
- 福利厚生
- 経営戦略
- 効率改善

YJB 四日市事務機センター 〒510-0891 四日市市日永西2丁目18番地7号  
YONJIM Co., Ltd. Tel.059-346-5411  
四日市事務機センター <https://www.yj-c.co.jp/>



# HOWA

〒513-0836 鈴鹿市国府町5696-1 TEL 059-378-2818

HOWAは環境と従業員の健康に配慮し、女性が活躍する企業です  
運送・構内物流・不動産賃貸・ガソリンスタンド・内装建築・自動車リース・販売整備



## 株式会社 宝輪

<http://www.kkhowa.co.jp/>



Nearly ZEB達成 津営業所  
ZEB Ready達成 津中央ビル

## エネルギーで、くらしを豊かに。

燃料油 / 潤滑油 / ソーラー / ろ過装置

# NAYADEN

<https://www.nayaden.co.jp/>

〒511-0068 三重県桑名市中央町3丁目66番地 TEL 0594-22-4521

